

研究課題別事後評価結果

1．研究課題名： 第二の Kleptoprotein の発見

2．個人研究者名

別所 - 上原 学 （名古屋大学 高等研究院 特任助教）

3．事後評価結果

研究代表者は世界で初めて発光魚キンメドキが餌生物の発光性甲殻類から発光酵素タンパク質であるルシフェラーゼを取り込み利用することで発光していることを見出し、Kleptoprotein(盗タンパク質)と命名している。本研究ではこの独創性に富んだ研究を背景として発光生物であるアカイボトビムシならびにオキクラゲを対象として Kleptoprotein の 2 例目の発見を目指した。その結果、アカイボトビムシに関しては安定した飼育系を確立し新種を発見しており、発光メカニズムの解明についての期待がもてる知見を得ている。今回は 2 例目の Kleptoprotein の発見には達しなかったものの、これまで不確実だった発光生物に関する基盤を構築できたことで、この分野の研究の進展に大きく寄与することとなった。また ACT-X をステップとして次の研究予算の獲得に成功したことから、さらに研究者個人の飛躍だけでなくこの分野の研究を飛躍させる成果が期待できる。